

切り取ってご利用ください

親子で楽しむワークショップのご案内

美術館は、夏休みのひとときを親子で楽しむことができる、2つのワークショップを開催します。家族そろって、ご参加ください。

1. 虹色いろいろ～色えんぴつアート

色えんぴつでカラフルに色を塗った紙を切り貼りすることで、魚や鳥などの形をつくるワークショップです。

と き：7月27日(日)午前10時～正午(1回目)、午後2時～4時(2回目)

講 師：美術館学芸員

定 員：各回20名(先着順)

参加料：無料

参加方法：7月4日(金)から電話で申し込む

2. 葉っぱでバッタを折ってみよう

シュロの葉を折り紙のように折り進めていくことで、今にも動き出しそうなバッタをつくるワークショップです。

と き：8月3日(日)午前10時～午後0時30分

講 師：池田正光氏(エコアーティスト)

定 員：10組(先着順) ※小学校3年生以上のお子さんと保護者で1組

参加料：500円(作品制作・展示室観覧・飲み物付)

参加方法：7月4日(金)から電話で申し込む

夏休みの宿題にピッタリだね!



ジンジャくん



シュロの葉でつくるバッタ

今月の日光ブランドは「龍王祭」

夏といえば：そう、お祭りですね。7月25日(金)・27日(日)には、今年で46回目を迎える龍王祭が開催されます。

龍神を祭る龍王祭は、市を代表する夏祭りの一つ。昼間に行われる龍王峡の五龍王神社における神事を皮切りに、鬼怒川・川治の両温泉街で夏の風物詩としてにぎやかに開催されます。龍王太鼓の力強い演奏や鬼怒川囃子の演奏、勇壮な万燈神輿の渡御、タレントライブ、ステージイベントなどが盛大に行われます。

7月25日(金)・26日(土)に開催される鬼怒川温泉エリアは「くろがね橋」付近が、26日(土)・27日(日)に開催される川治温泉エリアは「川治ふれあい公園」がそれぞれ主会場となります。多くの露店も祭りの雰囲気の花を添えます。



女樽神輿

老若男女、どなたでも楽しめる夏の一大イベント龍王祭。今年の夏は、浴衣で鬼怒川・川治へ足を伸ばしてみませんか？

ントを聞いたところ、「鬼怒川温泉エリアで平成25年から復活した、女性だけが担ぐ女樽神輿がとっても華やかなんです。樽は地元酒蔵の樽を使っているんですよ。午後9時45分～10時の最後の15分間は花火も打ち上げられ、万燈神輿(1基)、女樽神輿(3基)と花火のコラボレーションは最高です！」と説明してくれました。そして、女性の神輿は全国的にも数が少ないとのことのお話も。龍王祭の新しい魅力につながるのではと、期待せざるにはられません。

くわしくは 総合政策課 ブランド戦略室 ☎(21)5131

進め! 地域おこし協力隊

くわしくは 地域振興課 地域振興係 ☎(21)5147

今月は、栗山地域で活動する地域おこし協力隊員を紹介します! 栗山地域の地域おこし協力隊は平成23年11月から1期生が活動を開始し、25年4月からは2期生が活動を開始しました。現在は1期生2名、2期生1名の計3名が協力して活動を行っています。

栗山で迎える3度目の春、そば作りの会を設立するなど、ようやく活動を形作ることができてきました。これからの正念場。地域のひとと一体となる活動をしていきます!

栗山はこれからおもしろい」をコンセプトに活動をはじめて3年目。今年はいよいよ集大成の年です。新しい観光イベントやプロモーションにも挑戦します。お楽しみに。



青山裕之隊員(埼玉県から転入)



清水武大隊員(東京都から転入)



土屋小枝隊員(東京都から転入)

連載 世界遺産 日光の社寺

教育委員会事務局 文化財課

日光市中央町15-4 ☎(30)1861

世界遺産とは②

世界遺産とは「世界遺産条約」に基づき「世界遺産一覧表」に記載された建造物や遺跡(文化遺産)、自然など(自然遺産)のことをいいます。

条約の目的は「文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること」(文化庁ホームページより)です。

条約は昭和47年の第17回ユネスコ総会で採択され、昭和50年に20カ国が条約を締結したことで正式に発効しました。しかし、日本が加入を決定したのは、採択から20年後の平成4年のことです。

「世界遺産条約」は、全38条から成っています。しかし、そこに示されているのは、基本的な理念や方針、原則のみで、具体的な世界遺産登録のための手続きなどは示されていません。

これを補つために「世界遺産条約履行のための作業指針」が別途定められ、英語原文の冒頭は、「オペレーショナルガイドライン」と記されています。つまり、条約履行のためのガイドラインということです。

このガイドラインは、世界遺産登録に必要な条件や基準といった手続き関係だけでなく、登録後に行うべきことや、世界遺産インプレムの使用に関する項目も含まれ、全20段落にもなります。また、付属資料などを含めると英語原文で150ページを超える量になります。

作業指針 は定期的に改定され、最新版は2013年版です。なお、原文は英・仏語の2版で、日本語版は2005年版が「仮訳版」として文化庁ホームページで公開されています。以後の引用はこの日本語版によります。

◆ 次回は「世界遺産条約」と「作業指針」から世界遺産登録のための必要条件について解説します。